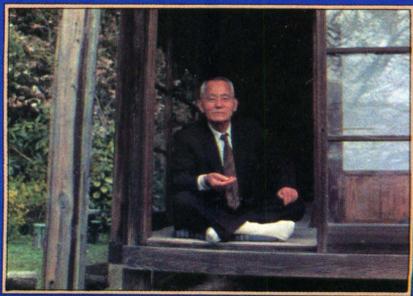
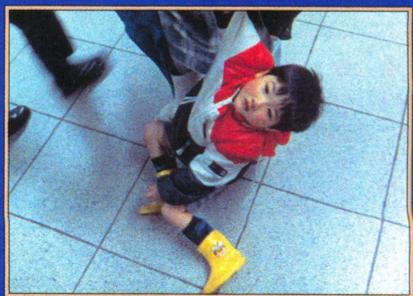
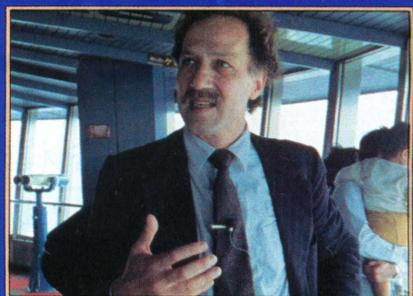
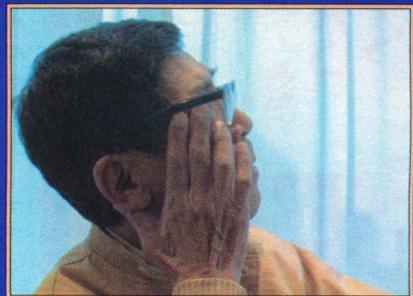


# 東

グイム・ヴェンダース監督作品



「ベルリン・天使の詩」のグイム・ヴェンダースが  
現代の東京に  
探し求める心の画(イメージ)  
やさしさあふれる  
感動の旅日誌



見て 生きる  
愛 孤独 幸福 悲しみ  
恐れを生きる  
突然 スクリーンに  
何か本当のもの  
何か現実のものを  
息をのみ 身震いしてしまう

# 京

私にはあらかしめ  
東京の画(イメージ)  
東京への欲望があった  
実際に行く前から  
小津の映画によって  
街と住民がこれほど身近に  
思える街はなかった  
この近さ 親密さを  
私の映像は求めていた

1985年カンヌ映画祭特別招待作品

Wim Wenders  
70720-GA



フジテレビジョン  
パワースタッフ

ナレーション: グイム・ヴェンダース  
イラストレーション: イー・ス・カンカラート  
WIM WENDERS PRODUCTION  
フジテレビジョン

原節子  
東山千栄子  
高橋豊子  
香川京子

ヴェルナー・ヘルツォーク  
「東京物語」より

製作: クリスティーヴァー  
出演: 笠智衆  
原節子  
厚田雄春  
ウエルナー・ヘルツォーク

編集: ヴィム・ヴェンダース  
ソルウェイク・トマルス

音楽: (デック・トレイシー)  
ローリー・フネオカ  
メーシエ・マムシエ  
チーロ・ボネルテガ  
グイム・ヴェンダース

監督: 脚本: グイム・ヴェンダース  
撮影: エドゥアール・バウ  
音楽: (デック・トレイシー)  
ローリー・フネオカ  
メーシエ・マムシエ  
チーロ・ボネルテガ  
グイム・ヴェンダース  
ソルウェイク・トマルス  
製作: クリスティーヴァー  
出演: 笠智衆  
原節子  
厚田雄春  
ウエルナー・ヘルツォーク  
「東京物語」より

監督: 脚本: グイム・ヴェンダース  
撮影: エドゥアール・バウ  
音楽: (デック・トレイシー)  
ローリー・フネオカ  
メーシエ・マムシエ  
チーロ・ボネルテガ  
グイム・ヴェンダース  
ソルウェイク・トマルス  
製作: クリスティーヴァー  
出演: 笠智衆  
原節子  
厚田雄春  
ウエルナー・ヘルツォーク  
「東京物語」より

監督: 脚本: グイム・ヴェンダース  
撮影: エドゥアール・バウ  
音楽: (デック・トレイシー)  
ローリー・フネオカ  
メーシエ・マムシエ  
チーロ・ボネルテガ  
グイム・ヴェンダース  
ソルウェイク・トマルス  
製作: クリスティーヴァー  
出演: 笠智衆  
原節子  
厚田雄春  
ウエルナー・ヘルツォーク  
「東京物語」より

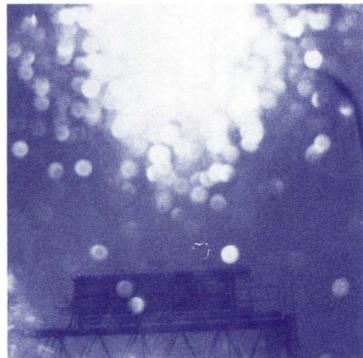
# 画

■イントロダクション

「ベルリン・天使の詩」が「すべてのかつての天使たちに、とりわけ、安二郎とフランソワとアンドレイに」というしめくくりで、W・W（ウィム・ヴェンダース）が師とあおぐ小津安二郎と、なくなったばかりのフランソワ・トリュフォーとアンドレイ・タルコフスキに捧げられていたことはよく知られている。「東京画」は、「ベルリン・天使の詩」の前作で、「都会のアリス」で出発した旅の映画（ロード・ムービー）を、フィクションでなく、作家の心のうちをありのままにさらす旅日記に展開させ、東京という街、そして、見るということを主題にして、「ベルリン・天使の詩」の姉妹映画のように、やさしさにあふれるまごなしで小津へのオマージュをつづる、純粹で感動的な映画だ。

機内から見た東京の空、東京駅、地下鉄の構内、桜の墓地、原宿、W・W自身が好きなのパチンコ、宿泊したホテルのテレビの映像などなど、ふつうの旅人のふつうの好奇心の範囲で映像が撮影されていく。地上に残されたイメージなんか、もう残っていないも同然と断言する友人ヴェルナー・ヘルツォーク監督。

Wim Wenders  
70KYO-GA



エル・マルドール／ル・ヌーヴェル・オブゼ  
ルヴァトール誌  
●ヴェンダースの意図は明確だ。もはや失なわれた小津の映像世界を求めてではなく、その根源を探し求めるのだ。イメージを求めて、ヴェンダースは自分の広角レンズで撮るのをやめて、小津が唯一ゆるした50ミリのレンズに切り換えてみる。《自分の、でないイメージがいた》。小津の死後、厚田氏は他の監督とでは仕事にならず、孤独だ。その言葉に、撮影カメラもゆらぐ。ヴェンダースが泣いているのだ。——オリヴィエ・セギユレ／リベラシオン紙  
●小品だが重要な作品。言葉の力でなく、イメージのすばらしい力で、小津が、感動的に語られる。——ヴィンセント・キャンビー／ニューヨーク・タイムズ紙  
編集はW・W自身と「ベルリン・天使の詩」主演のソルヴェイグ・ドマルタン。音楽は、「ヘリック・トレーシー」のグループ名で、「ベルリン・天使の詩」の音楽を担当し出演もしているローリー・ブレイガンとニコ・ロホ。オルテガにメーシュー・マムシエ。製作は「パ

【スタッフ】監督・脚本…ウィム・ヴェンダース／撮影…エド・ラッハマン／音楽…ディック・トレイシー／ローリー・ブレイガン／メーシュー・マムシエ／ニコ・ロホ・オルテガ／ミクス…ハルトムート・アイヒクリュン／編集…ウィム・ヴェンダース／ソルヴェイグ・ドマルタン／編集助手…ジョン・ノイバーガー／製作助手…リリアン・ジヴァニヒ／ウラ・ツヴィッカー／製作…クリス・ジヴァニヒ【出演】笠 智衆、厚田雄春、ヴェルナー・ヘルツォーク／「東京物語」より原 節子、東山千栄子、高橋豊子、香川京子／小津安二郎／ウィム・ヴェンダース（ナレーション）

WIM WENDERS PRODUKTION(ベルリン)+GRAY CITY INC.(ニューヨーク)+CHRIS SIEVERNICH FILMPRODUKTION(ベルリン)+WDR(ケルン)製作(協力 松竹株式会社 イーストマンカラー/スクリーンサイズ スタンダード 1時間33分/全5巻・2,525m/日本語字幕 松浦寿輝、石崎 泉/宣伝デザイン 小笠原正勝/写真提供協力 小尾健彦/©WIM WENDERS PRODUKTION+CHRIS SIEVERNICH FILMPRODUKTION 1985

ウィム・ヴェンダース監督脚本作品  
●1985年カンヌ映画祭特別出品作品

東京画

ドイツ映画(カラー)1985年  
オリジナルフランス語版  
フランス映画社配給  
BOW  
パワシリース作品

しかしW・Wは地上のイメージにこだわる。敬愛する小津映画の人々、名優・笠智衆氏や名撮影監督・厚田雄春氏との出会いを通して、W・Wの東京の画(イメージ)もまた、小津の50ミリの世界に近づこうとする。小津映画には世界中のすべての家族がいる、とW・Wは言う。私は、小津映画に、私の父の母、私の弟、私自身を見る、と。イメージで語る作家W・Wがこの映画につけた題名は「東京画」。(TOKYO-GAの副題として、仏語版、英語版、ドイツ語版には、旅日記を意味するそれぞれの言葉が題名についている。)「画」はイメージを意味する画だ。小津を生んだ日本、小津映画を生んだ東京に、W・Wはどんなイメージを見たのだろうか？

●大監督が巨匠について語る映画。その愛の詩は単なる映画青年の讃辞とは違う。作家がその師に抱く敬愛はもつと深く、共犯関係をさえ想像させるもので、それが「東京画」には大胆に描かれている。厚田氏が小津を思い出して涙する時、我々の胸はしめつけられる。「東京画」もまた、偉大な映画だ。——ミン  
リ、テキサス」や「ザ・デッド」のクリス・ジヴァニヒ。  
主な登場人物は、笠智衆、厚田雄春、W・Wの盟友である監督のヴェルナー・ヘルツォーク、新宿ゴールデン街の「ジュテ」で登場する「ラ・ジュテ」の監督クリス・マルケルをはじめ、小津安二郎監督とW・Wと東京にゆかりのある人々、そして「東京物語」の人々である。  
人は誰でも現実を  
人は誰でも／現実を／自分なりに 知覚する  
／他者を 愛する人々を見る／身の回りの  
事物を見る／街や風景を／そこに生きる人々  
を見る／他人の死を見る／死すべき人間  
い つか壊れる物／見て 生きる——／愛 孤独  
幸福 悲しみ 恐れを生きる／人生を見る  
見るのは自分だけだ／なのに 自分の経験と  
映画で見る映像とが／滑稽なまでにずれる事  
を／誰でも知って／このずれに慣れなき  
て／映画と人生が／違うのがもう当たり前  
で／突然 スクリーンに／何か本当のもの  
／何か現実のものを見ると／息をのみ 身震い  
してしまふ  
ウィム・ヴェンダース

WV  
ヴェンダース・フェスト 1989  
6月17日(土)より  
ロードショー!

JR有楽町駅中央口前  
有楽シネマ 03 (201) 3066  
●上映時間  
パリ、テキサス 12:00 4:35  
東京画 日・祝のみ10:00 2:35 7:10

特別鑑賞券1300円  
好評発売中 (当日一般1600円)  
の処  
劇場窓口、都内各有名プレイガイド、チケットぴあ、  
チケットセゾン、丸井チケットガイド、大学生協他  
●グループ鑑賞のお申込は㈱メイジャー(541)2508へ。  
●同時上映 ●カンヌ映画祭グランプリ作品  
〈パリ、テキサス〉

続く上映予定作品——  
●「まわり道」+「都会のアリス」  
●「さすらい」  
●「ニックス・ムービー」+「アメリカの友人」